

関係各位

公益社団法人群馬県歯科医師会
会 長 村 山 利 之
地域保健担当
常 務 理 事 佐 野 公 永
(公 印 省 略)

「令和6年度群馬県歯科医師会地震災害対策研修会（後援：群馬県）」の開催について

時下 関係各位におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は当会の会務運営にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、近年、群馬県では大規模地震は発生しておりませんが、過去には大規模地震が生じていた痕跡があり、地震は、たとえ発生確率が低くても、いったん発生すればその被害は甚大なものとなる可能性があります。

そこで今回、今年度開催された第20回警察歯科医会全国大会で特別講演をされ、また、YouTubeなどで地震被害の解説や災害への備えを呼び掛けておられる、地震工学や防災工学がご専門の、山口大学名誉教授三浦房紀先生をお迎えし、首都直下地震や南海トラフ巨大地震に対する知識と危機意識を学ぶ研修会を下記の通り開催させていただきます。

つきましては、関係者様へのご周知方につきましてご高配賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。多数の皆様方のご参加をお待ち申し上げます。

記

日 時：令和7年3月22日（土）17：30～19：30

17：30～19：00 講演

19：00～19：30 三浦先生との名刺交換会を開催予定

講 師：山口大学 名誉教授

山口大学大学研究推進機構 教授（特命）

（有）山口ティール・エル・オー 代表取締役

三浦 房紀 先生

演 題：「迫りくる首都直下地震に備える」

会 場：群馬県歯科医師会館（群馬県前橋市大友町1-5-17）

※駐車場には限りがございますので乗り合わせまたは公共交通機関のご利用をご検討ください。

開催形式：集合研修（会場のみ）

定 員：100名

申込方法：下記 URL もしくは QR コードからお申込み下さい

<https://forms.office.com/r/8BeUYydUFA>

申込期間：令和7年1月27日（月）～令和7年3月18日（火）

定員になり次第締め切りとなります

※URL および QR コードでのお申し込みができない場合には、県歯事務局までご連絡ください。（TEL：027-252-0391）



◆講 師

山口大学 名誉教授
山口大学大学研究推進機構 教授（特命）
（有）山口ティー・エル・オー 代表取締役

三浦 房紀 先生



◆演 題

「迫りくる首都直下地震に備える」

◆抄 録

まず、首都直下地震とはどのような地震なのかを説明します。そしてその首都直下地震が近い将来必ず起こることをお話しし、その首都直下地震が起こるとどのような被害が生じるのか、国や群馬県の地震被害想定結果について説明し、その被害を最小限に抑えるために、今から何をどう備えたらよいかをお話しします。具体的な対策の例として事業継続計画（BCP）の重要性、それに実効性を持たせるための家庭の防災の重要性についてお話しします。

併せて、南海トラフ巨大地震も迫っていること、想定される南海トラフ巨大地震の被害についても紹介します。

最後に国が首都直下地震や南海トラフ巨大地震に対してどのような備えを進めているのか、そして不可能と言われている地震の直前予知への研究者の挑戦を紹介します。

◆略 歴 他

- 1974年 山口大学工学部土木工学科卒業
- 1976年 京都大学大学院工学研究科修士課程修了
- 1976年 同年京都大学防災研究所助手
- 1983年 山口大学工学部助教授
- 1988年 コーネル大学客員助教授（1年9か月）
- 1992年 山口大学工学部教授
- 2006年 山口大学大学院理工学研究科長・工学部長（4年間）
- 2014年 山口大学副学長（地域連携、国際連携担当、6年間）
- 2017年 山口大学応用衛星リモートセンシング研究センター長（3年間）
- 2024年 アジア防災センター長（現在に至る）

専門分野：地震工学・防災工学、衛星リモートセンシングの防災利用等。学術論文約200編

著書等：単 著：「もうすぐ首都直下、南海トラフ巨大地震を体験する人たちへ」

KADOKAWA 2025年1月

共著・共訳：耐震解析法、杭基礎の要求性能設計法など、計5編

JAXA、国土交通省、総務省、県、市の委員会委員長多数

受賞：内閣総理大臣賞（防災功労：平成26年9月）

文部科学大臣賞（科学技術賞理解増進部門：平成24年4月）

山口県知事表彰（防災に関する県への貢献に対して：平成23年3月）

総務省中国総合通信局局長賞（平成20年6月） 他多数